

ティーンズだより



Vol. 29



特集 深い海

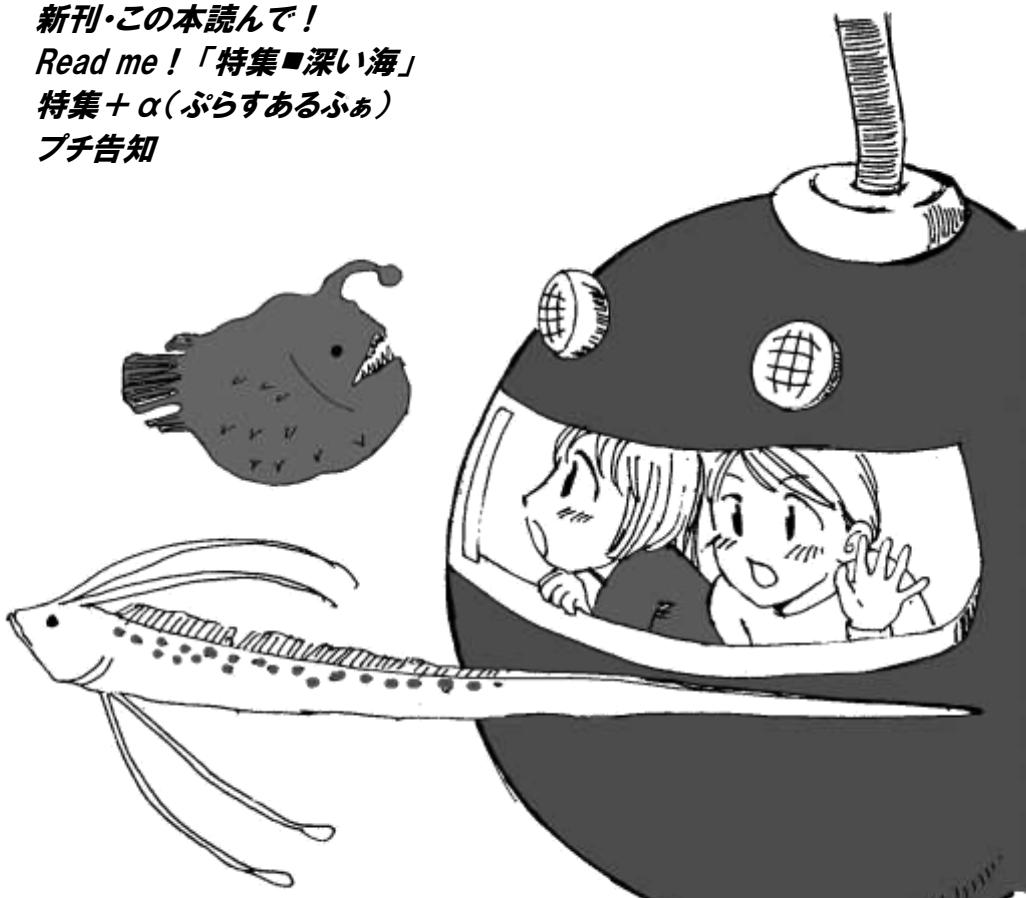
◆ とびっく ◆

新刊・この本読んで！

Read me ! 「特集■深い海」

特集+α(ぶらすあるふあ)

チチ告知



発行：田原市図書館

発行日：平成 22 年 1 月 13 日

〒441-3421 田原市田原町汐見 5 番地 TEL 0531-23-4946 FAX 0531-23-4646

<http://www.city.tahara.aichi.jp/section/library>

特集+α (ぶらすあるふあ)

特集「深い海」いかがでしたか？

私事ですが、先日伊良湖岬へと行ってきました。天気が良かったので、景色はもちろん太平洋もすごくキレイに見えて感動しました☆

それでは今回も、図書館で所蔵しているDVDを、ぶらすあるふあで紹介します！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆「深い海」な CD・DVD

CD『崖の上のポニョ』 307/ガ

「人魚姫」をモチーフにしたとも言われる大ヒット映画のサウンドトラック

DVD『グラン・ブルー』 C42/グ

フリーダイビングの世界記録と一人の女性をめぐって争う二人の男たちを描いた作品。海の映像がとても美しいです。

DVD『深海生物』 481.74/チ

光も届かない深海に暮らす生き物たち。そんな生き物たちの地上では絶対に見られない映像がもりだくさん収録されています。

CD・DVDは人気の資料です。

貸出中の場合は、予約をしてね！

◎期待が高まる…◎

まもなく始まる冬季オリンピック。今年は2月12日からカナダのバンクーバーで開催されます。カーリングやスキーなどたくさんの競技がありますが、愛知県民としてはやっぱりフィギュアスケートが気になるトコロです。1月の中央館一般展示は「オリンピック」なのでそちらもチェックしてみてください！

ところで、バンクーバーと日本の時差はなんと！17時間だそうです。開催中は寝不足になることは間違いないですね(ーー;)

★★★ チチ告知 ★★★

◎キャリアデザイン講座◎

今回の講師は田原市図書館館長森下芳則氏です。図書館建設準備室時代から現在に至るまでの道のりや、地域に愛され必要とされる図書館作りなどについてお話をいただきます。ぜひご参加ください★

日時：平成 22 年 1 月 31 日 (日)

場所：田原文化会館 201 会議室

定員：30 人 (先着順)

申込：電話または直接田原市中央図書

館にて受付中

☆新刊・この本読んで！☆

10月から12月にかけて入った新刊からおすすめの本を選びました。

あなたのお気に入りはみつかるかな？

「かいじゅうたちのいるところ」

ディヴ・エガーズ//著 小田島恒志・小田島則子//訳 河出書房新社 933/エ ティーズ



マックスはいたずらばかりをくり返してはいつもママやお姉ちゃんに叱られてばかり。ある日ママにかみついて家を飛び出したマックスは、小川のほとりで見つけたボートに乗って一人海に出る。何日もの航海の末、たどり着いた島には毛むくじゃらのかいじゅうたちがいた。

モーリス・センダックによる名作絵本のノベライズ版です。絵本の方はみなさんも一度は読んだことがあるんじゃないでしょうか。1月15日から映画も公開されます。

「月夜のチャトラバトラ」 新藤悦子//著 講談社 913/シ ティーズ



トルコのカッパドキアの洞窟で発見されたカヤ。カヤを発見したアナとアタはその洞窟をホテルに改装して3人で暮らすことにした。カヤは5歳の頃、キノコ形の巨大な岩が乱立する「キノコ岩の森」に迷い込み、3人の小さな人に出会った。彼らのしゃべり言葉はチャトラバトラと聞こえたので（でも頭の中では人間の言葉で聞こえるから不思議！）、カヤはその小さな人たちを「チャトラバトラ」と呼ぶことにした。チャトラバトラは満月の夜になると、過去や未来へ時間旅行したり、友達の心に入り込めるという不思議な力を持っていた。

「落窓物語」 氷室冴子//著 講談社 918/ニ ティーズ



時は平安時代。おちくぼ姫は、美人で生まれも高貴なのに、継母の北の方にいじめられる毎日。そのおちくぼ姫が、彼女を慕う人たちに助けられ、右近の中将と結ばれるまでを描く日本版シンデレラストーリー。おっとりしているおちくぼ姫は歯がゆいけど、心優しいお嬢様。一方、意地悪な北の方の、ネバーギブアップ精神と、迫力はなかなか見ものです。

もともとは今から千年以上前に書かれた古典。それが氷室冴子さんによって、今の言葉で著されています。原文で読むのは大変だけど、これなら読みやすいのでは？同じシリーズで、「源氏物語」や「竹取物語」などぞくぞく登場しています。

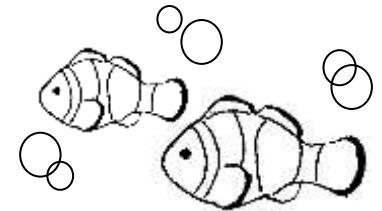
図書館がオススメするすてきな本

Read me ! 特集 深い海

地球の約70%を覆っている海。

光も届かないようなその海底には
今なお多くの謎が眠っている…。
そんな深～い海がテーマです。

あなたは、何を発見できるでしょうか？



「ウルメル 海に潜る」

マックス・クルーゼ//作 ひくまの出版 2005年 943/ク 児童



ティティブー島には、恐竜の生き残りらしいウルメルをはじめ、人の言葉を話せる動物たちと、それを教えた教授とティムのふたりが住んでいます。この教授、言葉を教えるために動物に知性を与える薬をつくるなど、ものすごく頭が良く、今回は水に長く潜れる潜水薬を開発したり、カニに手話を覚えさせたり、それはもう研究熱心！やがてカニと仲良くなった教授は、おろろしい海坊主の話を聞きます。おびえるカニのため、ウルメルたちは海坊主の住む海底をめざすことに。

大変な場面でも、どこかのんきで気ままな登場人物たちによる、脱力系ファンタジー。

「海時間のマリン」

名木田恵子//著 ブッキング 2005年 913/ナ ティーズ



片桐真鈴はパパと二人暮らしのごくフツウの中学生。だけど15才の誕生日が近づくにつれてなぜか急に転びやすくなってしまって両足にアザを作ってしまったり、何もない駅や教室で目の前に滝のまぼろしを見てしまったりと不思議なことばかりが起りはじめる。

ある朝両足のアザを見たパパから、実は真鈴は人間のパパと人魚のママから生まれたハーフだと教えられる。パパによると15才の誕生日を迎える前にある場所「ドラゴンネック」にたどり着かなければ真鈴は完全な人魚になってしまらしい。真鈴はパパから渡された地図をもとに北へと向かう。

「イサナと不知火のきみ」「イサナ 龍宮の闘いへ」

たつみや章//作 講談社 2006年 2007年 913/タ ティーズ



綿津見の長一族の娘イサナは強い靈力を持った巫女だが、13歳になつたいまでも浜の男達と同じような格好をして、真っ黒に日焼けした姿はまるで少年のよう。イサナは兄に頼まれ、大海を渡る船を造る為の大木を見つけるために「呼ばい」をしていた。その「呼ばい」に応えた声の主はマツの大木の中に100年もの間眠っていた不知火海を支配する龍一族の最後の生き残りである小龍だった。「不知火のきみ」である小龍の父は、妃のシャチによって身を滅ぼされ、魂を捕らえられていた。小龍ヒコナは父の敵を討ち、不知火の海に再び平和をもたらすために、イサナ、クレ、綿津見一族の男達と共に妖怪シャチに闘いを挑む。

「海底の魔術師」

江戸川乱歩//著 ポプラ社 1998年 913/エ 児童



知っている人もいるかな？明智小五郎や小林少年が活躍する少年探偵シリーズです。

ある日の帰り道、宮田少年は悪者に追われているという男に出会い鉄の小箱をあずかります。男が死んでしまったため、明智探偵に相談したところ、小箱には金塊を積んだ沈没船のありかを示す地図がはいっていたことが分かり…。沈没船の金塊をうばおうと、不気味な鉄の人魚（陸上ではものすごく動きにくそう！）やら、魚型の潜航艇やら、おばけガニやら…怪しそうなものがぞくぞく登場します。

昭和30年に連載された小説なのでちょっとレトロな雰囲気です。

「オーラフとサンタクロース、海底にプレゼントをはこぶ」

フォルカー・クリーゲル//作・絵 草土文化 2008年 943/ケ ティーズ



大きなツノ（ただし片方のみ）をもつヘラジカのオーラフとサンタクロースはよく晴れた冬の日、氷が張ったクマ湾でアイスホッケーをしていました。しかし、突然氷が割れてオーラフは冷たい海の中へ。そこでオーラフは海中に不思議な光を見つけます。サンタクロースと一緒に海底へ潜ってみるとそこにはたくさんの黄金とともに3人の海賊が住んでいた。なんと、200年も海底にいるという海賊たちはもう魚料理はうんざり、たまには七面鳥やクリスマスのごちそうが食べたいとオーラフたちにリクエストをします。リクエストにこたえるため二人が取った作戦とは？

「アトランティスのイルカ」

ジェイ・ナスパウム//著 奥村章子//訳 アーティストハウス 2002年 933.7/ナス ティーズ



「老人と海」というヘミングウェイの名作を知っていますが？ 1958年に映画化もされた、巨大マカジキ相手に闘う老いた漁師を描いた作品です。一方、この作品はそんな名作を海の中、つまり魚からの視点で表現した作品です。

主人公は賢く勇敢な老マカジキオールドフィッシュですが、語り手はオールドフィッシュとともに生きるコバンザメのフィッシュマエル。空にあこがれを抱くオールドフィッシュたちは人生の最後に遠くアトランティスにいるという伝説のイルカに会いに行きます。しかし、途中で妻を殺した漁師エル・カンペオンの針にかかってしまい…

「天空の竜宮城」

香月日輪//著 理論社 2008年 913/コ ティーズ



蜃空を龍が飛び、隅田川には大蛟、江戸城には巨大な骸骨“がしゃどくろ”が棲む妖怪都市一大江戸。雀はそこで暮らすたった1人の人間だ。雀は大江戸のかわら版屋で記者として働いている。桜の咲き乱れる季節、お弁当を持ってお花見に出掛けた先で、雀は酔っ払いに絡まれた女の子を助けた。そのことがきっかけで雀は竜宮城に招待されたのだが、竜宮城といつても、海の中ではなくて空に浮かんでいるというのだ。足の生えた天空人魚に案内されて着いた不思議な村。そこで雀が出会ったものとは…。

『大江戸妖怪かわら版』シリーズ第3作目。

「海底二万里」上中下

ジュール・ヴェルヌ//著 大友徳明//訳 健成社 1999年 953/ペ ティーズ



1866年、世界の海に巨大な怪物が現れ、船の海難事故が多発した。その怪物はクジラより大きく、ときどき青白く発光し、驚異のスピードで海中を移動するらしい。フランスの博物学者アナロクス教授は究明の為に太平洋へ向かうが、謎の人物ネモ船長が指揮する潜水艦「ノーチラス号」に捕らえられ、海底の世界旅行へ同行することに。氷山に閉じ込められたり、サメの襲撃、大ダコとの死闘などハプニング続出！！そして軍艦との闘いへ…。

海の描写が美しく、まるで一緒に海底旅行をしているような気分を味わえる一冊です。

「海底密室」

三雲岳斗//著 徳間書店 2000年 913.6/ミク ティーンズ



深さ4,000メートルの海底に作られた海底実験施設《パブル》。海上から潜水艇で二時間もかかるそこでは、海底資源の利用など、人が将来海へ移住するためのさまざまな研究がされている。取材のためそこを訪れた科学雑誌記者の鷺見崎遊は、常駐スタッフの一人が、二週間に不審な死を遂げていたことを知る。密室だったため、自殺として処理された事件だったが、不可解な死はひとつでは終わらなかった。

自殺か事故か、あるいは殺人なのか。遊は携帯PCに宿る人工知能・御堂とともに、事件の真相を探る。海底という非日常がつくりだす密室ミステリー。

「海の底」

有川浩//著 メディアワークス 2005年 913.6/アリ ティーンズ



桜まつりで開放され、たくさんの人であふれる米軍横須賀基地が巨大な甲殻類の群れに襲われた?!近くに停泊していた海上自衛隊潜水艦「きりしお」の隊員夏木と冬原は逃げ遅れた子どもたちを救出し、艦内に立てこもるが巨大ザリガニと海に囲まれているため外に脱出することもできない。同じころ、市内では機動隊員たちが市民を守るために最小限の装備のみで命がけで巨大ザリガニたちと戦っていた。

ページ数は多いけどアリティある戦闘シーンと、個性あふれるキャラクターたちが魅力的です!!文庫版には番外編も収録されてます。

「気になる、この本！」

掲示板前においてある「気になる、この本!」「投稿しよっ!」用紙を知っていますか?「この本、みんなに紹介したい!」とか「図書館にあったら、読んでみたいなあ~」というみんなの声を募集しています。投稿、どしどしあお待ちしてます!!

「イラスト投稿募集中！」

おなじく、掲示板では、みなさんからのイラストを募集しています!毎月変わるテーマで面白いイラストを描くも良し、好きなキャラクターを自由に描いてみるも良し。こちらもご参加お待ちしています!!

他にもこんな本あります♪

○『深海魚 暗黒街のモンスターたち』

尼岡邦夫//著 ブックマン社 2009年 487.51/ア 一般

○『スポーツ感動物語3 記録への挑戦、自分との戦い』

学習研究社 2008年 780/ス ティーンズ

○『七つの封印7 深海の魔物たち』

カイ・マイヤー//原作 山崎恒裕//訳 ポプラ社 2003年 943/マ ティーンズ

○『水深五尋』

ロバート・ウェストール//作 金原瑞人・野沢佳織//訳 岩波出版 2009年 933/ウ ティーンズ

○『深海のYrrr』上・中・下

フランク・シェツティング//著 北川和代//訳 早川書房 2008年 943.7/シエ 文庫

○『漂流物』

デヴィッド・ウーズナー//作 BL出版 2007年 E/ウ ティーンズ

○『レッド・ラッカムの宝』

エルジェ//作 川口恵子//訳 福音館書店 1983年 E/エ ティーンズ

★もっと調べてみたい人・ほかの本を探したい人

図書館では調べものや本を探すお手伝いをしていま
カウンターなどで気軽に声をかけてね!

*次回のテーマは「アガる↑はなし」です。お楽しみに!

